

学校運営協議会だより

Vol.4 学校運営協議会事務局 発行 2026.2.13

令和8年2月5日（木）に、第4回学校運営協議会を行いました。前回同様、委員の皆さんに授業を見学していただき、その後、各学部長を交え協議を行いました。今年度最後の協議会として、年間の総括等も行いました。

1 授業見学の感想

委員の皆様から、子どもたちとのかかわり方・授業内容・掲示物等についてご助言をいただきました。校内の職員で共有し、日々の学習活動にいかしていきます。

子どもの様子、授業内容や教員と子どもの関わりについて

- ・以前から変わらず、掲示が豊か。
- ・先生も子どもも楽しそう。
- ・若い教員もよい授業をしていると思った。
- ・子どもたちが自信をもってやっている。とてもニコニコしている。
- ・会話にはたくさんの余白がある。今は答えられなくても、投げかけ続けることが大切。
- ・先生が答えをせかさない。待つ姿勢のすばらしさ。
待つ中で、よいタイミングでヒントを出すことできる。
- ・国語の授業で、「本文に戻る」よい授業をしていた。
- ・いい顔をして活動している生徒が多い。とても頼もしく感じた。
- ・選挙のことなど、社会に出て役立つことを学習していることもよい。
- ・掲示物を使用して、指導目標が明確に示されていた。
達成感をもたせやすいように、目標をより具体的にしてもよいと思う。
- ・口話教育であっても手話であっても、正しい日本語をつかう、教える、考えさせることが大切。
- ・出てきた言葉に助詞を補ってあげるとなおよい。

2 学校評価アンケートについて

児童生徒、また全保護者・教員を対象に実施した学校評価アンケートについて、委員の皆様へ報告し、ご意見をいただきました。指摘いただいた内容について、学校として改善を進めていきます。

- 学校のベースは安心安全。子どもからも保護者からも、よい回答がきている。ベースはできていると捉えてよいでしょう。
- 「先生は、あなたのことをよく考えている」ここもしっかりできている。
- 中高、保護者と生徒の回答が一部、一致していないところが気になる。
- 「少しそう思う」は肯定的な評価だが、その中には、潜在的にはマイナス評価があることも意識してほしい。
- 自力通学のための練習で、公共交通機関のトラブル対応について学ばせてほしい。自分事になるように、経験した子の話を他の子に聞かせるなどするとよい。病院に行った時に困ったことなどについても同様。
- 社会自体の在り方と価値観が変化している。教員の姿を見て、子どもが学ぶことも多い。
- 進路についての評価の低さ。情報提供がたりないと思われる。選択肢があることを知るだけでも、不安の軽減になる。

3 今年度の総括と次年度の方向性について

今年度の活動の振り返りと次年度の活動について、ご意見をいただきました。「学校側のビジョン」「普段の活動の延長線上」というキーワードを次年度につなげていきます。

- 今年行ったデフリンピック交流会は、親の会の発案、学校側の協力が進んだ。実際の交流会では、子どもたちのいい姿がたくさん見られた。次は、学校側からの「こうしたい」があって、学校運営協議会側ができることをうまく組み合わせればよい。もちろん「活動ありき」ではなく、ふだんの延長線上で考えて。
- 先生方からの意見をすいあげるなどして、学校側からの「こんなことしてほしい」というビジョンを出してほしい。

今回も、委員の皆様から貴重なご意見を多数いただきました。年間を通じて、本校の子どもたち、また職員の様子を継続して見て、褒めていただき、改善点についてもご教授いただきました。学校および学校運営協議会の運営に反映させ、次年度もよりよい教育が行えるよう努めてまいります。

横須賀市立ろう学校 学校運営協議会事務局 〒238-0023 横須賀市森崎 5-13-1
電話：046-834-1172 FAX：046-834-0096 Mail：admini@rou-sd.yknet.ed.jp